



みなさん、こんにちは。

いつも、会の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年もあと一か月ほどになりました。

いよいよ晩秋、紅葉のシーズンです。10月頃まで猛暑続きでうんざりしていましたが・・・秋となりました。

毎年、秋の恒例行事である土浦の花火競技会は、今年は延期も無く中止ということで、市役所には苦情の電話が3600件もあったそうです。

今までは雨天の場合は延期していましたが、諸事情によりやむをえなかったのでしょう。

ところで、11月12日は菊田さんに講師をお願いして、VLOOKUP関数、INDEX、MATCH関数について学習をしました。不慣れだとややこしく感じるものですね。

## 特集

### VLOOKUP関数とINDEX、MATCH関数 およびIFERROR関数について

#### ① VLOOKUP関数のメリットとデメリット

メリット

関数式自体が短く済む

使用できる人が多い(教えやすい)

デメリット

表の形状によって使えない形がある

VLOOKUPの最大の弱点は、検索値の左側からは情報を取り出せないという点です。

#### ② INDEX関数+MATCH関数のメリットとデメリット

メリット

VLOOKUP関数が出来ない左側からも情報が引き出せる

デメリット

とにかく関数式が長くなるので、あとから修正するときに大変です。

=INDEX(データ範囲, MATCH(行の検索値, 行の検索範囲, 0))

下記の図のようにVLOOKUPは検索値の左側のデータがエラーとなります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
15									
16	コード	商品名	分類		検索値(コード)	1001			
17	0001	ジャガイモ	根菜		VLOOKUP	レタス			
18	0002	キャベツ	根菜		INDEX+MATCH	レタス			
19	0003	さつまいも	根菜						
20	1001	レタス	葉物						
21	1002	キャベツ	葉物						
22	1003	ほうれん草	葉物						
23	2001	モモ	果物						
24	2002	スイカ	果物						
25	2003	バナナ	果物						

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
28									
29	分類	商品名	コード		検索値(コード)	2001			
30	根菜	ジャガイモ	0001		VLOOKUP	#N/A			
31	根菜	キャベツ	0002		INDEX+MATCH	モモ			
32	根菜	さつまいも	0003						
33	葉物	レタス	1001						
34	葉物	キャベツ	1002						
35	葉物	ほうれん草	1003						
36	果物	モモ	2001						
37	果物	スイカ	2002						
38	果物	バナナ	2003						

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
28									
29	分類	商品名	コード		検索値(コード)	2001			
30	根菜	ジャガイモ	0001		VLOOKUP	#N/A			
31	根菜	キャベツ	0002		INDEX+MATCH	モモ			
32	根菜	さつまいも	0003						
33	葉物	レタス	1001						
34	葉物	キャベツ	1002						
35	葉物	ほうれん草	1003						
36	果物	モモ	2001						
37	果物	スイカ	2002						
38	果物	バナナ	2003						

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
28									
29	分類	商品名	コード		検索値(コード)	2001			
30	根菜	ジャガイモ	0001		VLOOKUP	#N/A			
31	根菜	キャベツ	0002		INDEX+MATCH	ほうれん草	葉物	1003	
32	根菜	さつまいも	0003						
33	葉物	レタス	1001						
34	葉物	キャベツ	1002						
35	葉物	ほうれん草	1003						
36	果物	モモ	2001						
37	果物	スイカ	2002						
38	果物	バナナ	2003						

#### ③ IFERROR関数でエラー(#N/A)を表示せず、表を見やすくする。

たとえばVLOOKUP関数をIFERROR関数と組み合わせた数式の形は、次の通りです。

=IFERROR(VLOOKUP(検索値,範囲,列番号,検索方法),エラーの場合の値)

ポイントは、次の通りです。

IFERROR 関数の「値」に VLOOKUP 関数を入れる  
「エラーの場合の値」に VLOOKUP 関数がエラーの場合に返す値を入れる

VLOOKUP 関数の使い方は普段通りで変わらない

### ※エラー時に空白を表示させるには

エラー時に空白を表示させるには、先ほどの数式の「エラーの場合の値」に「””」を2つ入れます。

=IFERROR(VLOOKUP(検索値,範囲,列番号,検索方法),””)

「””」は、空白という意味です。そのため、VLOOKUP 関数がエラーの場合には空白が表示されるようになります。

INDEX と MATCH 関数の場合に組み合わせると

=IFERROR(INDEX(データ範囲, MATCH(行の検索値, 行の検索範囲, 0)),””) というので、

ややこしくなりますね。

参考までに YouTube の解説はこちらです ↓

タイトルは「Excel で VLOOKUP の左側を取得する

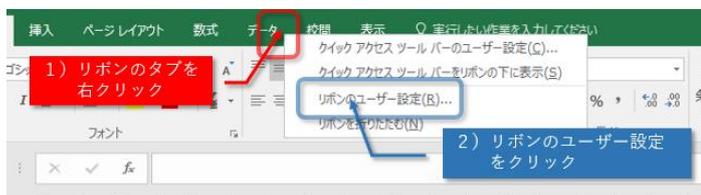
【INDEX 関数, MATCH 関数】」です。

<https://www.youtube.com/watch?v=crlL7jrWlg8&t=351s>

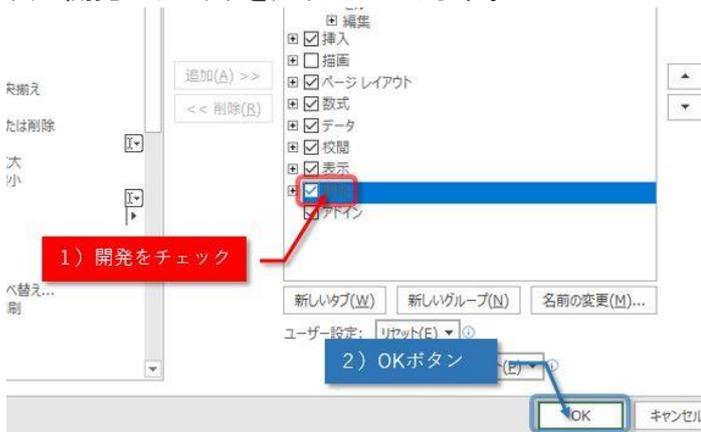
具体的な操作方法がわかりますのでお勧めいたします。

### その他、フォームコントロールについて

また、「フォームコントロール」は便利な機能ですが、これは[開発]タブにあります。しかし、Excel の初期状態では[開発]タブはありません。まず、[開発]タブを表示します。リボンのタブを右クリックし[リボンのユーザー設定]をクリックします。



次に開発にチェックを入れて OK します。



開発→挿入からフォームコントロールを選択できます。



データ入力に便利なフォームを作成できますので、お試しください。

QR コードは 4 月からの年間予定です



### 12 月と 2025 年 1 月の予定

12/03 定例会、PC フォーラム発行など

12/10 WEB

12/17 WEB

12/24 休み

12/31 休み

2025 1/07 定例会

1/14 WEB

1/21 定例会 講座

1/28 定例会、PC フォーラム発行など

※WEB 定例会は LINE グループでの開催です。

